

シルバー人材センター



シルバーマーク

ニュース

# ゆんたく

〈発行所〉

公益社団法人 沖縄市シルバー人材センター

〒904-2155 沖縄市美原3丁目1番1号

電話番号 (098) 929-1361

http://www.okinawasisi.com

6月末現在の会員数545人

(男性336人・女性209人)

## 昨年に続き異例の定時総会 事業・決算報告など承認

公益社団法人沖縄市シルバー人材センターの令和3年度定時総会が6月10日、シルバーワークプラザ2階大会議室で開催され、令和2年度の事業報告及び収支決算報告等を審議、それぞれ承認された。総会開催時は、新型コロナウイルス感染症の急激な拡大で沖縄県は4度目の緊急事態宣言を発出中。このため総会会場を急きょ変更、出席人数も各専門委員長と地区長の15名の出席にとどめた。会員は委任状提出で済ませるという2年連続の異例の定時総会開催となった。



### 報告

報告第1号 令和3年度事業計画及び収支予算

議案第4号 理事長に対する権限委任

議案第3号 定款の一部変更

議案第2号 令和2年度収支決算報告

議案第1号 令和2年度事業報告

### 議事

の過半数で総会成立を宣言。議案第1号から第4号まで審議、すべて原案通り承認決議された。報告事項として、令和3年度事業計画及び収支予算が、去る5月18日開催の「第2回理事会」において承認された旨の報告があった。



露した。議事進行を務める議長には、浜比嘉宗明副理事長を選出。会員総数534人中、413人(出席者15人、委任状398人)



定時総会は、同日午後1時30分に開会。安全推進員の上江洲勝さんの司会で進行した。最初に、上原秀雄理事長が挨拶(2面に全文掲載)。続いて、桑江朝千夫沖縄市長と小浜守勝沖縄市議会議長から激励のメッセージが寄せられ、仲宗根正史事務局長が代読で読み上げ披露した。

## 定時総会理事長あいさつ(全文)



令和3年度の定時総会を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

まず本日、この度の定時総会へご出席を頂きました皆様をはじめ、会員の皆様には日頃からご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本来でありましたら、会員皆様にご出席頂き、又ご来賓をお招きして定時総会を開催してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から昨年に続き、先の理事会において「一般法人法第50条」の規定により「代理人による議決権の行使(委任状)」にて議決等を行うこと致しました。このような形での開催になりましたことをご了承頂きたいと思っております。

なお、本日は桑江沖繩市長並びに小浜市議会議長より激励のメッセージが届いておりますので、後ほどご披露させて頂きたいと思っております。

国内では、新型コロナウイルスへの感染が異変株へと拡大する中「緊急事態宣言」の発出や「まん延防止等重点措置」を適用するなど、感染者数の拡大防止に苦慮しております。沖縄県においては、昨年2月に初めて感染者が確認されて以来、感染者数は急激に増え続け、歯止めがかからない中、今月20日までの4度にわたる緊急事態宣言が発出され、感染拡大はより一層、危機的

状況下にあると聞いていいと思っております。ウイルスという目に見えない敵との戦いは、長い戦いとなっておりますが、会員の皆様には、これから先も「就業活動」や「日常生活」等においては、できるだけ「3密」を避けるとともに、マスクの着用、手洗い等を徹底するなど日頃から感染予防対策を十分に意識した行動をお願い致します。

さて、昨年度は当センターの課題である「会員の拡大」と「就業機会の拡大」について、役員や地区会員の皆様との連携の下、目的の達成に向けて取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大は、当センターの事業運営にも大きな影響を及ぼしております。

令和2年度の主な事業実績は「会員数」530人、「契約金額」約2億7千9百万円、「就業延人員」42,555人日となり、全項目で前年度を下回る結果となっております。

特に「会員の拡大」については、地域自治会との連携による会員募集チラシの市内全世帯への配布、また会員による「一人一会員」運動の推進など会員の拡大に努めてきましたが、コロナ禍の影響により減少するなど、かなり厳しい状況が続いております。今年度も引き続き、会員の入会強化事業に積極的に取り組むと共に、退会者の抑制にも取り組んでいくことが重要だと思われれます。

次に、センター事業において最重要課題である「安全・適正就業」についてですが「安全・適正就業委員会」「安全推進員」等による巡回パトロールの強化や会員間による声掛けを推奨し、安全に対する意識の高揚を図っ

てまいりましたが、令和2年度は6件の事故が発生致しました。前年度より3件の増加となっております。

安全で適正な就業については、今後とも会員及び役員が一体となり「事故の未然防止」「発生事故の検証と今後の対策」そして「会員への情報提供」など、事故の撲滅に取り組んでまいります。会員一人一人のご理解とご協力によるものが大きな力になるものと考えております。よろしくお願い申し上げます。

ご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症対策は新たな段階に入っており、引き続き当センターでは、会員の「安全・安心」を第一に「会員の増強」「請負・委任」による就業、また「介護予防・日常生活支援総合事業」や「労働者派遣事業」による就業拡大に取り組む、時代のニーズに対応した就業の場の提供・拡大に取り組んでまいります。

今後とも「安全第一」「健康第一」で会員一人一人の知識や経験、技能を活かして働くことを通じて「生き生きと活動する社会」を目指してまいります。

役員一丸となって事業の推進に努め、「就業活動」及び「ボランティア活動」をはじめとして、生涯現役・健康長寿社会の実現に寄与してまいります。

最後に、会員皆様のお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。皆様のご健康とご活躍をご祈念申し上げます。

令和3年6月10日

理事長 上原 秀雄

### みなし決議で第3回理事会

左記の2議案について「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条」及び「定款第38条」の規定により、理事全員が書面をもって同意の意思表示をしたため、理事会決議を省略し、みなし決議となった。

議案第1号「正会員の入会」について、8人(女性1人・男性7人)を承認。

その結果6月25日現在の会員数は545人(女性209人・男性336人)となった。

なお、5月の退会者は1人。

議案第2号「令和3年度安全・適正就業推進強化月間」実施要綱(案)について、別紙要綱(4面掲載)のとおり承認。

### 会員数・就業実人員は横ばい 就業延人員・配分金・契約金額は増

5月実績

令和3年5月の主な実績では、会員数537人で増減なし、就業実人員312人で増減なし、就業延人員3405人で492人の増(14%)、配分金約1803万円で約298万円の増(16%)、契約金額約2225万円で約347万円の増(15%)となった。

(対前年比同月比)

### 今年度初の傷害事故発生 刈払機による負傷事故

※ 事故内容… 刈払機による会員の負傷事故  
※ 発生日時… 令和3年5月17日(月)  
午後1時50分頃

※ 発生場所… 沖縄市内の民有地(雑木伐採地)

※ 事故状況… 当日は会員2人で民有地内を刈払機による除草作業中、別箇所で作業を終えた当該会員は、まだ作業中の同僚会員を手伝うつもりで近づいたところ、同僚会員はそれに気付かず作業を続け、刈払機の刃先が当該会員の左手首上部に接触、約5センチの裂傷を負った。

※ 事故原因… 作業中は、常に事故回避動作を心掛けなければならない。特に刈払機使用中においてはおお、その危険性に留意し、より慎重な作業をすべきであった。今回の事故は、同僚会員が作業周辺への注意を怠り、また当該会員は近くまで不用意に近づいたこと、双方とも緊張感の欠如が事故原因となった。

※ 事故後の対応… 事故発生時、負傷会員のかかりつけ医である整形外科病院に行くも看護師の助言を受け、緊急搬送を要請し、別の医療機関にて負傷箇所の緊急治療、縫合手術を受ける。

※ 再発防止対策… 翌朝、グループ全員で緊急ミーティングを行い、事故詳細の検証を行った。日ごろの作業がマンネリ化していないか、刈払機の危険性意識が疎かになっていないかなど、改めて事故防止対策の徹底と慎重な作業の実施を確認した。

### 新入会員紹介

6月25日付で8人(女性1人・男性7人)が新会員として入会しました。地区会員の皆さんよろしく。

- 上原 義信 (美里中校地区)
- 奥平 眞一 (越来・宮里中校地区)
- 上間 恵 (越来・宮里中校地区)
- 仲本 兼栄 (美里中校地区)
- 内間 均 (コザ中校地区)
- 玉城 茂範 (越来・宮里中校地区)
- 玉城 壽美子 (越来・宮里中校地区)
- 池原 賢治 (美里中校地区)

### 配分金振込先変更のお願い

配分金振込先を郵便局に

指定している会員の皆様

郵便局との取引終了に伴い、左記の期限までに、振込先をコザ信用金庫へ変更していただくようご協力をお願いします。

令和4年2月28日(月)まで

# 令和3年度「安全・適正就業 推進強化月間」実施要綱

## 目的

シルバー人材センター事業を推進する上で、会員の健康管理と安全で適正な就業の確保は最重要課題である。

令和2年度においては、就業現場の巡回パトロールや会員間による声掛けを行うなど安全意識の共有と各就業現場における事故防止対策を強化してきたが、残念ながら6件の事故が発生している。また新型コロナウイルス感染症も依然と終息の兆しが見られない中、会員及び役員が一体となり、より一層、事故防止対策、感染症防止対策に取り組まなければならない。よって、7月の「安全・適正就業推進強化月間」においては、安全・適正就業の徹底強化を図り、事故のない安全な就業環境づくりを推進すべく次のとおり取り組む。

### 1 「安全・適正就業推進強化月間」の取組み

- (1) 期間 令和3年7月1日(木)～31日(土)
- (2) 取組内容

- ① 「安全・適正就業推進大会」の開催
    - ・日時 令和3年7月 日( ) 午後1時30分
    - ・場所 沖縄市農民研修センター ※未定 (変更の可能性あり)
  - ② 横断幕やのぼり等の掲揚
  - ③ 県シルバー連合主催の「安全大会」等への参加
  - ④ その他、安全講習会等の開催
- ※①③④は新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、自粛・中止・延期を検討

### 2 安全スローガン

令和2年度～令和4年度シルバー人材センター全国統一安全就業スローガン 『いつまでも 働く喜び 無事故から』

### 3 安全・適正就業への取組み

安全・適正就業の取組みについては「安全掲示板」「ホームページ」

「ニュースゆんたく」等を活用した情報の提供を行うとともに、会員自身の健康管理と事故防止対策の意識高揚を図るための取組みを行う。

#### (1) 安全就業

- ア 就業前のラジオ体操と作業ミーティングを徹底し、会員の健康状態を把握
- イ 就業現場の「安全巡回パトロール」の実施強化
- ウ 安全衛生教育及び各種講習会の充実・強化
- エ 刈払機、機械器具及び安全保護具等の点検整備の実施強化
- オ タイヤ止め使用の徹底と「高齢運転者等に係るガイドライン」の活用
- カ 「安全就業ガイドブック」「安全・適正就業マニュアル」等の配布と活用

#### (2) 適正就業

- ア 「適正就業ガイドライン」を活用した、適正な就業の徹底
- イ 臨時的・短期的・軽易な就業の徹底
- ウ 発注者等からの「指揮命令」や「混在就業」等の排除
- エ 「受注票」「契約書」「請書」等における不適正な記載の確認及び就業実態の自主点検

### 4 新型コロナウイルス感染症防止への対応

- (1) 会員への感染予防措置等の周知
  - ア 手洗い、うがい、アルコール消毒、マスク着用及び外出自粛等の奨励
  - イ 風邪症状や発熱(37度以上)時の就業自粛
  - ウ 「新しい生活様式」の周知・推進
- (2) 就業機会の確保・提供に係る感染防止対策
  - ア 新規受注時の感染防止対策・感染リスクの確認の徹底
  - イ 就業中の感染防止対策(マスク着用、3密回避等)の徹底
  - ウ 感染症の拡大状況に応じて就業の延期、中止等を検討